



●この説明書は、必ず施工される方にお渡してください。 ※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

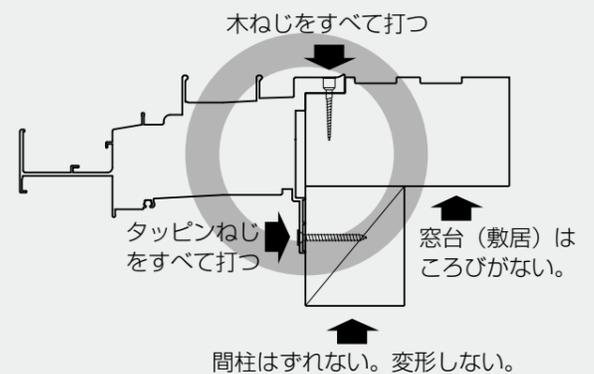
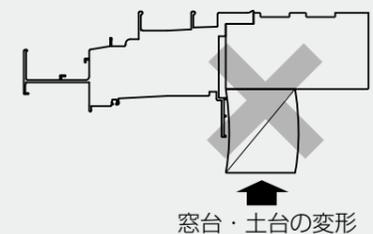
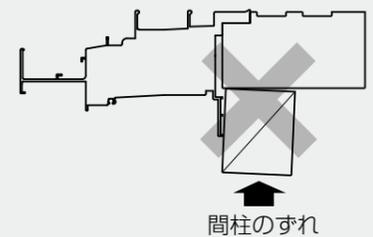
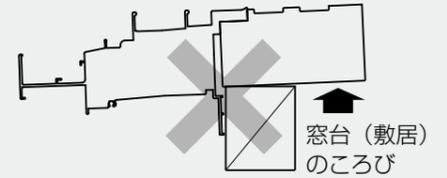
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

- 思わぬケガをする場合がありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大で約80kgになります。施工は対応する人数で行ってください。
- 障子脱落のおそれがあるため、下記事項をお守りください。
  - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下り、障子が落下するおそれがあります。（図1）
  - ・必ず指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
  - ・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
  - ・躯体取付けねじは必ず締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
  - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。
- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。
  - ・シャッターを連窓にする場合、吊束を取付けてください。吊束は最大60kgの荷量がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。（本文中の図参照）

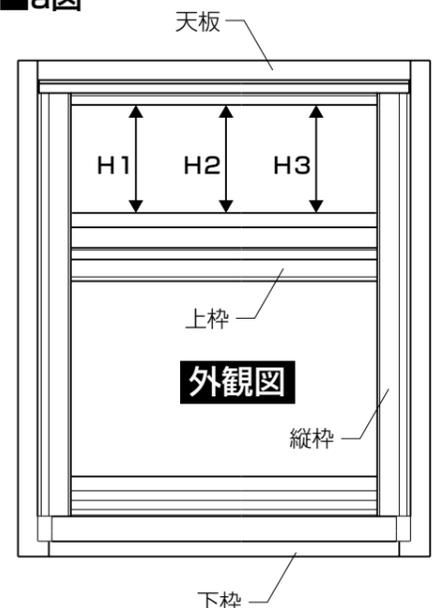
(図1)



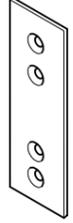
■取付け上のおお願い

- 必ず指定のねじで、枠を躯体に固定した後、障子を建込んでください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター（電動）の施工範囲には含まれません。
- シャッター取付け部の開口寸法は、正確に出してください。（H寸法）寸法が正確に出ないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。（a図参照）
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下のソリがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
- モルタルはく離剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。

■a図



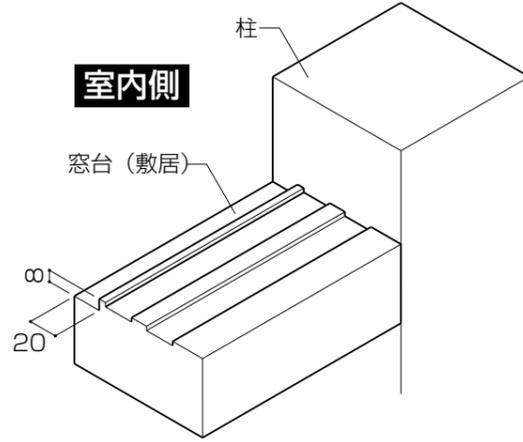
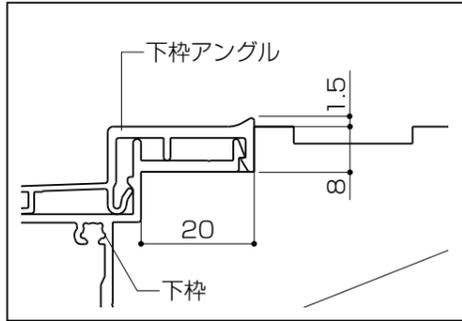
## ■使用部品・ねじ一覧表

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
					
皿タッピンねじ φ4×35	丸木ねじ φ3.1×20	段付き皿木ねじ φ3.8×32	皿木ねじ φ3.1×20	吊束補強板 (連窓のみ)	平頭釘φ3×50 (連窓のみ)

## ■取付け順序

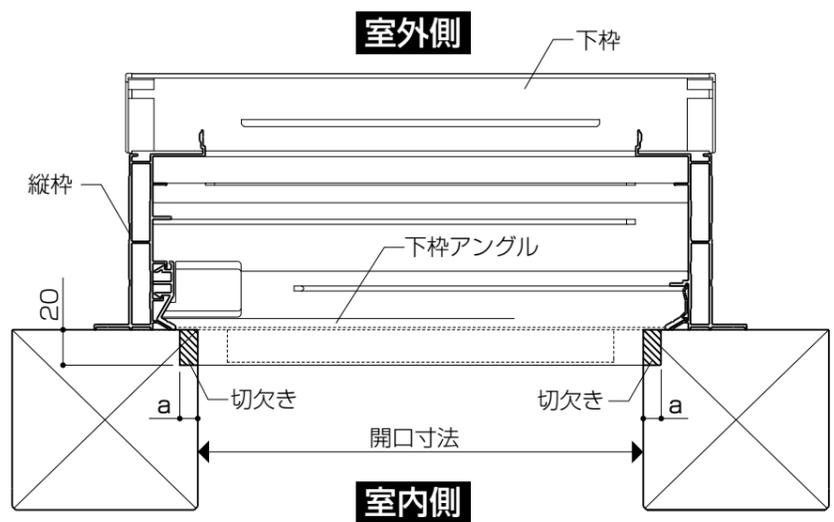
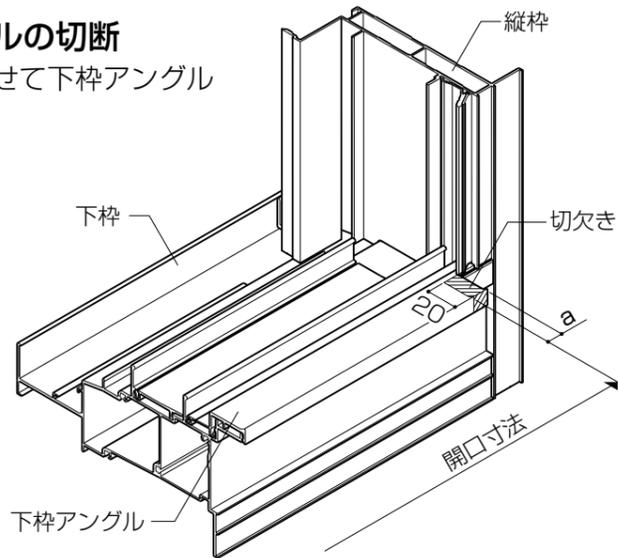
### 1 躯体の加工

- 窓台（敷居）に下枠アングルの取付け溝を掘込みます。



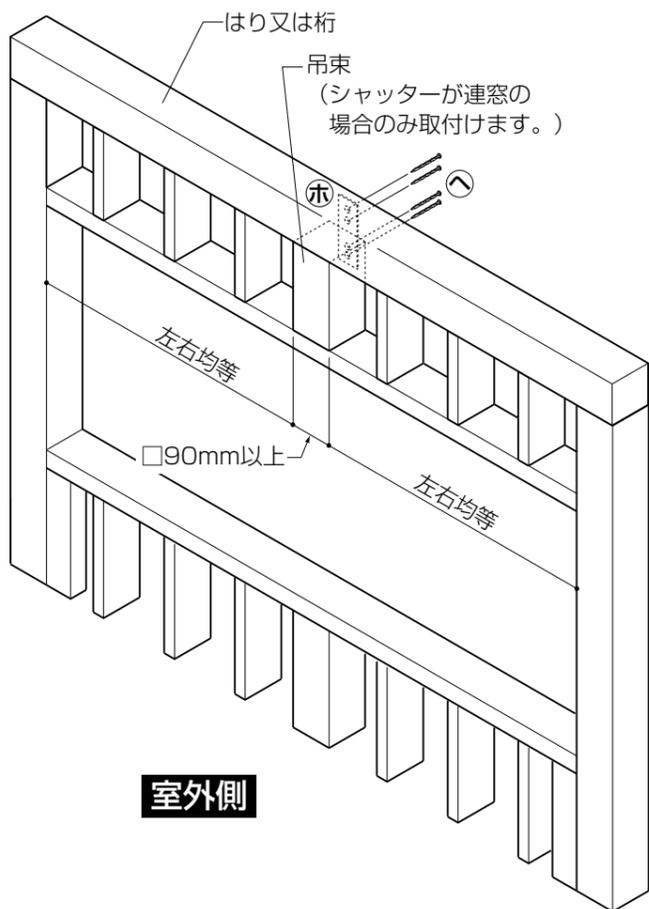
### 2 下枠アングルの切断

- 開口部に合わせて下枠アングルの切欠きを切ります。



### 3 吊束の取付け（連窓時）

- ※吊束は左右均等の位置に取付けてください。連窓するシャッターが左右均等でない場合、シャッター吊束取付け穴に吊束の中心がくるように取付けてください。

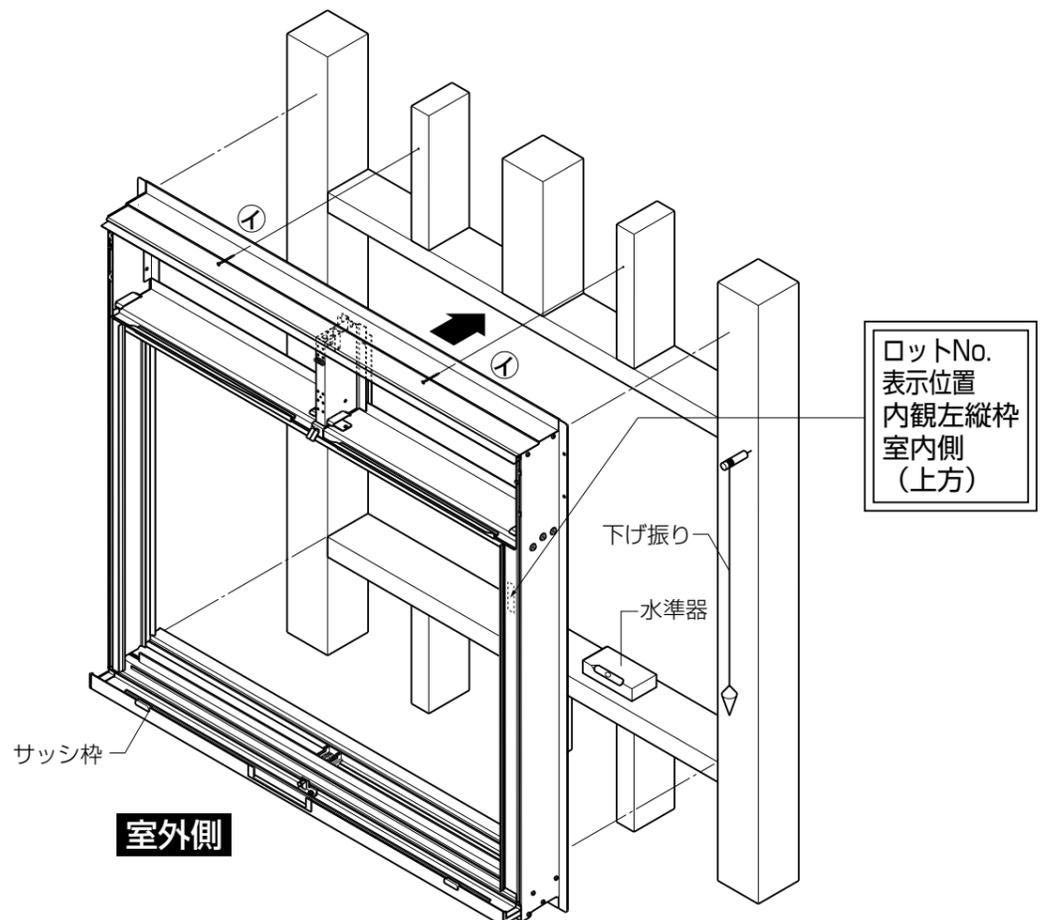


### 4 枠の固定

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

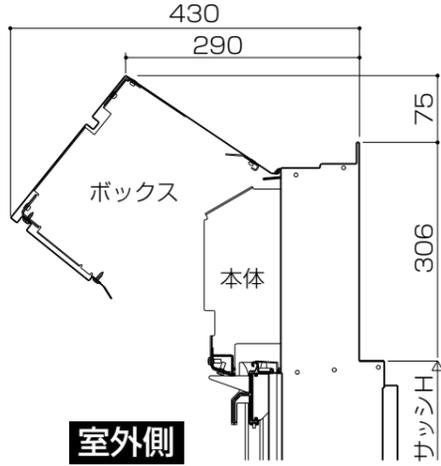
#### ▲注意

- 躯体取付けねじは必ず締めつけてください。下枠が外側にこぼれ、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

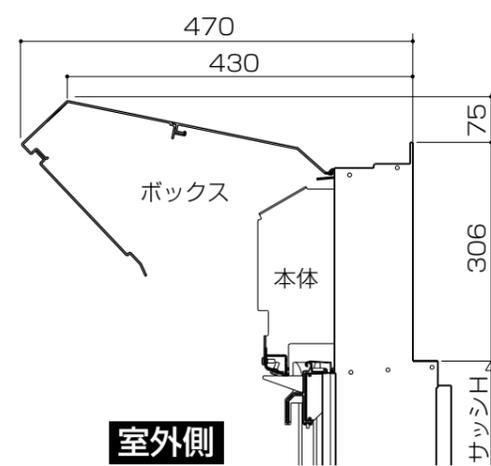


※シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

■D型ボックス

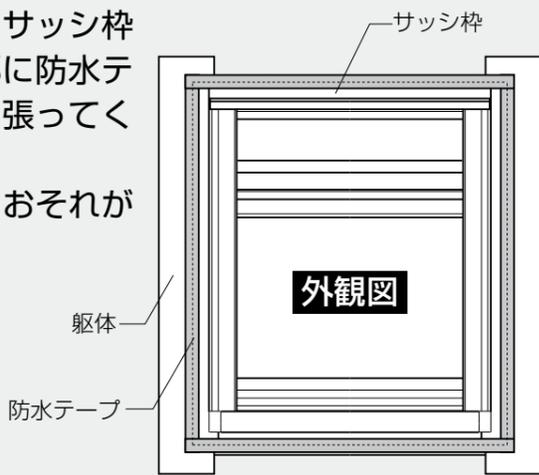


■H型ボックス



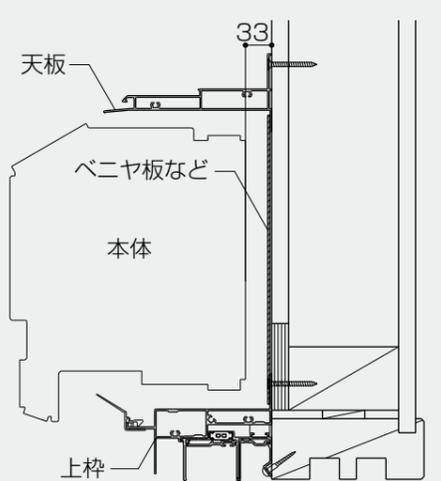
▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



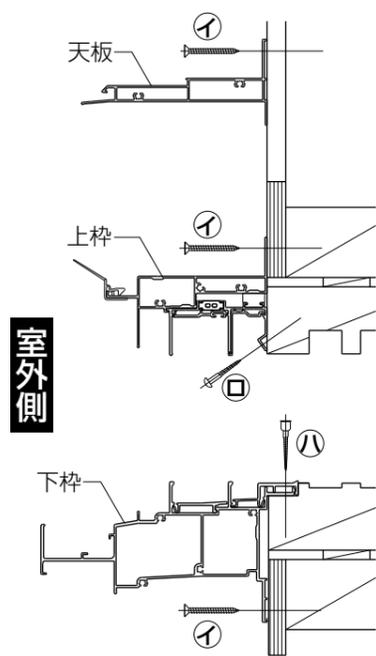
▲注意

- シャッター枠取付け後、ボックス部躯体側は、漏水しないように必ず本体同梱の背板を取付けてください。
- 本体取付けまで防水が必要な場合は、防水シートを必ず張ってください。
- 防水シートのかわりにベニヤ板などを使用する場合は、右図の要領で取付けてください。

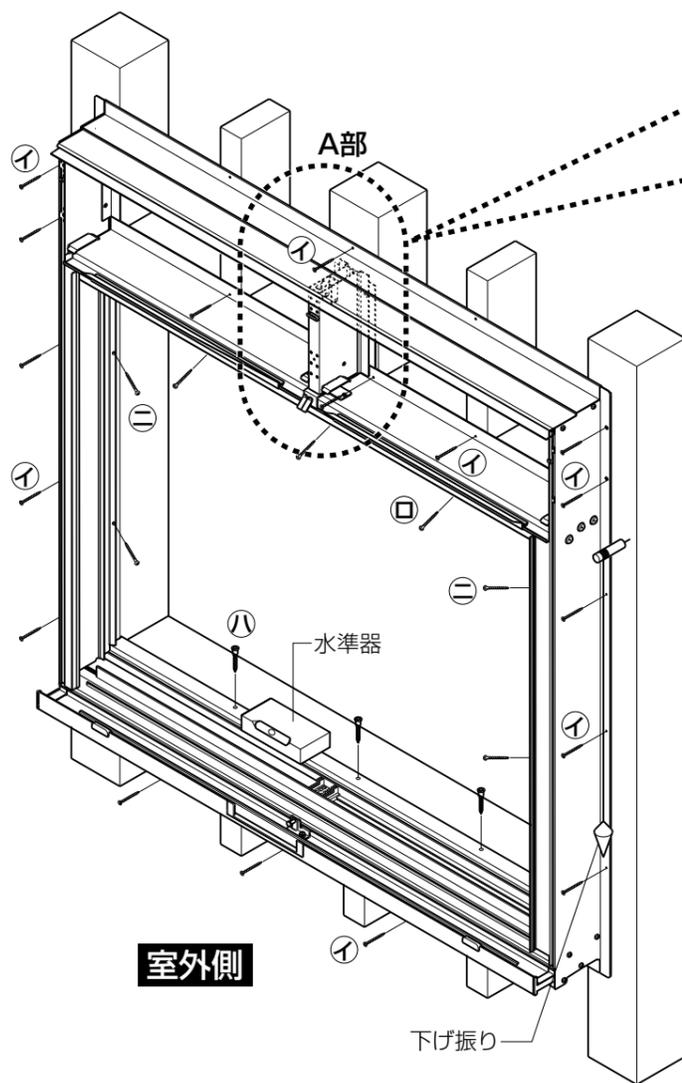
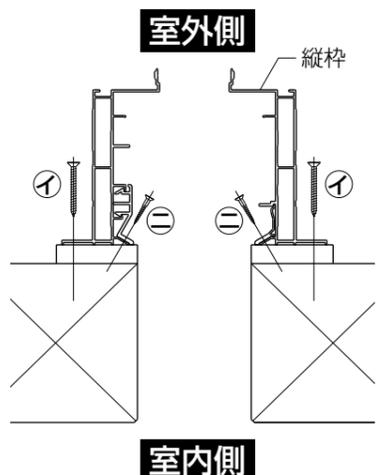


②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

■上下枠・天板の固定



■縦枠の固定

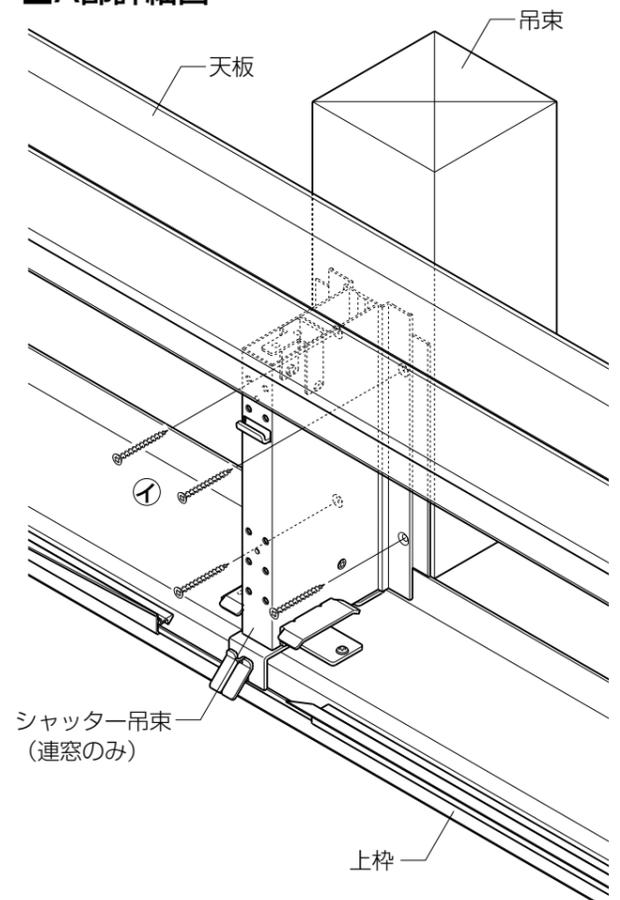


■シャッター吊束部取付け詳細（連窓のみ）

▲注意

- 取付けねじはすべて取付けてください。本体の脱落や変形による作動不良の原因になります。

■A部詳細図



## ■建付け調整

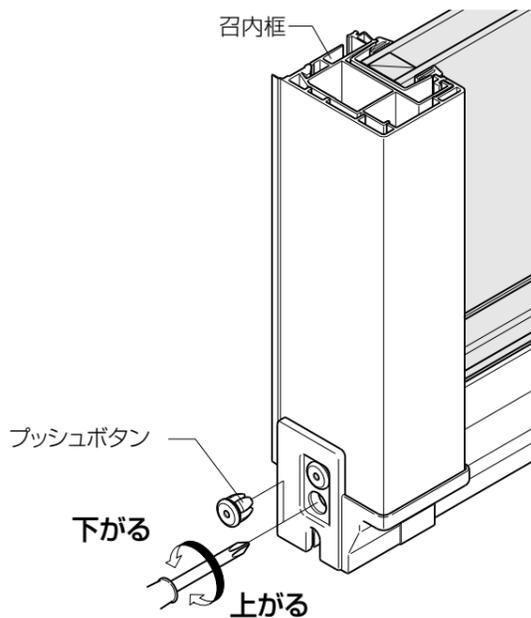
### ■戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）

※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりにませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

お願い

※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）



### ■クレセント調整

#### 【上下方向の調整】（クレセント本体）

①キャップを外します。

②プラスドライバーでねじを緩めてクレセント本体を上下に動かします。

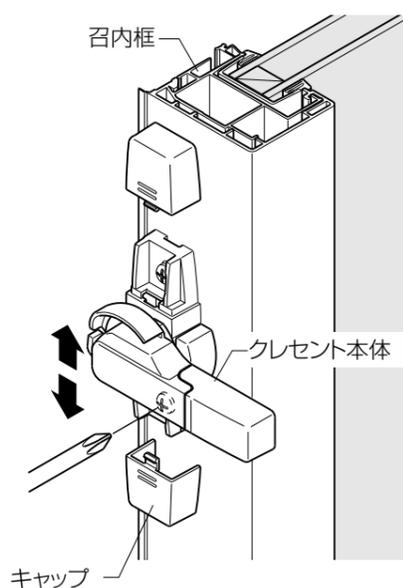
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

#### 【左右方向の調整】（クレセント受け）

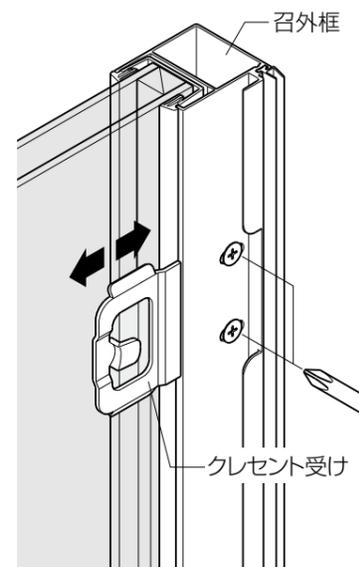
●プラスドライバーでねじを緩めてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### 【上下方向の調整】



#### 【左右方向の調整】



※図はシンフォニーです。デュオPG・SGはクレセント受けの形状が異なります。

### ■外止め調整

●プラスドライバーでねじを緩めて外止めを上げます。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### ▲注意

●必ず外止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

